

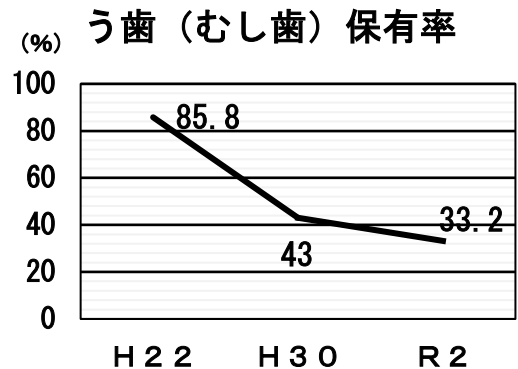
湧水郷

嘉島町立嘉島西小学校
学校だより 第7号
令和2年7月16日 文責 信國

ありがとうございます！ フッ化物洗口ボランティア

本年度も地域のボランティアの皆さんにお世話になり、フッ化物洗口（毎週金曜日）を行います。フッ化物洗口は歯質を強くするために行うもので、歯みがきとともに健康な歯を守る取組です。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で6月26日からのスタートとなりました。

右上のグラフを見ていただくとわかるように、フッ化物洗口の取組前（10年前）と比べ、う歯の保有率（保有率には処置済みの歯も含めます）が、本年度はグンと減少しています。このように効果が出ているフッ化物洗口ですが、朝の始業時に行うため担任は1日の準備を進めていたり、連絡帳に目を通していたりと忙しく、ボランティアの皆様がいらっしゃらなかつたら成り立たない取組となっています。月並みな言葉でしか表せませんが「感謝！」です。



【歯に関する豆知識（噛むことの効果）】 ヒミコノハガイーゼ（卑弥呼の歯がいーぜ）！

- 「ヒ」肥満防止：ゆっくりよく噛んで食べることで、食べすぎを防ぎ、肥満防止につながる。
- 「ミ」味覚の発達：食べ物の形や固さを感じることができ、味がよくわかるようになる。
- 「コ」言葉の発達：口の周りの筋肉をよく使うことで、あごの発達を助け、表情が豊かになったり、発音がきれいになったりする。
- 「ノ」脳の発達：脳に流れる血液の量が増えるので、子どもは脳が発達し、大人は物忘れの予防になる。
- 「ハ」歯の病気の予防：よく噛むと、唾液がたくさん出る。唾液には食べ物のカスや細菌を洗い流す作用もあり、むし歯や歯肉炎の予防になる。
- 「ガ」がんの予防：唾液に含まれるペルオキシダーゼという酵素が、食品の発ガン性を抑えるので、がんの予防につながる。
- 「イー」胃腸快調：消化を助け、食べ過ぎを防ぐ。また胃腸の働きを活発にする
- 「ゼ」全力投球：身体が活発になり、仕事や遊びに集中できる。噛むことで脳に刺激を与える。

生活しやすい学校に (生活安全委員会発表)

【生活安全委員】委員長：蒲池晃
荒木花音、藤瀬月、鎌先琉音、宮田彩衣、
中村綾、榊陽佳(6年)、
井坂獅斗、下田悠太、前田莉那、笠美咲、
黒川都季、西本陽香、市野樹、境大翔(5年)

7月15日の児童集会（放送）は、生活安全委員会の発表でした。みんなが生活しやすい学校にするためにと3つの提案がありました。概要は下のとおりです。子どもたちが自ら学校生活をよくしようと考える行動することが素晴らしいと思います。

- ① 廊下歩行：右側、広がらず、前を向いて
- ② 靴の入れ方：シールにかかとを揃える
- ③ トイレのスリッパ：次の人のために並べる

子どもたちに付けたい力は？

「ひとみ輝く 嘉島西っ子の育成」を学校教育目標に掲げて3年目です。子ども

たちがどのような力を身に付ければさらに輝けるようになるかを、昨年度の評価をもとに検討して「身に付けさせたい資質・能力」として決定し、成果指標を設定しました。これをもとに具体的実践を進めていきます。(ホームページにも掲載しています。)

